

『文法』の基礎・基本を学び直す

- 事前課題：指定されたページの【要点の整理】を音読し、【確認問題】をノートに解いてくること。
※ 答えとなる単語や文だけを書くのではなく、問題文を含めた「問題・解答全体」を書いてきてください。
- 授業：各回のテーマごとに文法の解説・演習を行います。また、短文を用いて読解の基礎基本を学びます。
授業内で解いた問題で間違えてしまったものがあれば、問題番号に✓をつけておきましょう。
- 事後課題：指定されたページの問題・授業で✓をつけた問題をノートに解いてくること。

※ 課題の提出方法：授業前に机の上にノートを開いておくこと。先生が巡回して確認します。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	be 動詞①	p.2,18	
②	Be 動詞② / 一般動詞①	p.6	
③	一般動詞②	p.10	
④	助動詞 can	p.14	
⑤	名詞の複数形	p.22	
⑥	疑問詞	—	

【持ち物】英語用のノート（4線でも大学ノートでも構いません）

1学期内容は数学の問題を解く上での基本となります。この内容をおろそかしては次のステップにはいきません、確実に自分の力にしていきましょう。この夏は正解にこだわきましょう。問題を解いて、答えが出ててもそれが正解とは限りません、2度3度と見直してください。“正解へのこだわり”これが数学力を伸ばします。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	数と計算	p1の1~4	解き直し
②	量/割合/図形/データの調べ方	p4の1~3	解き直し
③	正負の数の表し方/加法/減法/	p6の1~3 p8の1	解き直し
④	加法/減法/乗法/除法	p8の2 p10の1, 2	解き直し
⑤	加減乗除を含む計算	p12の1, 2	解き直し
⑥	文字の式の表し方/数量の表し方	p14の1, 2	解き直し

【持ち物】 数学用のノート

【理科】

講習でとりあつかう内容は必ず愛知全県模試で出題されます。この夏に植物・動物の分野を徹底的に復習しましょう。演習→丸付けの流れで授業が進んでいきます。

間違えた問題はテキストにチェックを入れて自主的に書き直しをしてください。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	生物の観察/植物のなかま	p.2, p6	書き直し
②	動物の分類	p10, p14	書き直し

【持ち物】教科書・ノート（理科・社会・国語で1冊）

【社会】

講習内容は、地理・歴史とも愛知県公立高校入試で頻出の分野です。1つ1つの語句を覚えるのはもちろん、関連する事柄をしっかりと結び付けていきましょう。今のうちに基礎を固めてライバルに差をつけましょう。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	【地理】 ・世界のすがた ・日本のすがた ・世界の国々の生活と環境	p.2, p.6	書き直し
②	【歴史】 ・人類の出現と文明のおこり ・日本の成り立ち ・律令政治の始まり	p.18, p.22	書き直し

【持ち物】教科書・ノート（理科・社会・国語で1冊）

※ 第1講、第2講ともに、学校の進み方によって先生が指示を出します

【国語】

「なんとなく文章を読んで、なんとなく答える」から、「こう書いてあるから、こう答える」に変わらしましょう。国語は、文章の中に答えが書いてあります。きちんと読むことができれば、答えを導くことができるのです。授業の際には、そのルールを説明しますから、そのルールに基づき問題を解きましょう。問題を解く時には、「ここにこう書いてあるから、この答えを選んだ」と理由をつけて解答をしていきましょう。また、記述問題にも必ず挑戦してください。書かないことが絶対に無いようにしましょう。答え合わせの際はなぜその答えになったのか、この文章はどの部分が一番重要だったのかを考え、解答のルールをつかんでいきましょう。

今回の講習では、苦手な人も多い「論説文」の基礎的な読解法について学びます。一生使える知識が満載です。今後の国語の学習に役立てましょう。

◆ 5教科完全特訓_カリキュラム		事前課題	事後課題
①	論説文読解 指示語・接続語	p.4-5,8-9	
②	論説文読解 事実と意見	p.12-13	

【持ち物】ノート（国語・理科・社会で1冊）